

2021年度 事業報告書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(1) ジェンダー問題に関する研究・調査

① プロジェクト研究

第2期プロジェクト研究として、人文・社会・自然にわたる多様な研究分野の若手（研究歴が短い）研究者19人の参加をえて、2018年度から研究会を開始した。研究会の成果として書籍を出版するため、今年度は、出版執筆者意見交換会や書籍編集委員会を開催し、書籍出版の準備を進めた。

<テーマ> 「ジェンダー研究が拓く知の地平」

<意見交換会>

第2回 日時 : 2021年9月20日(月・祝) 20時~22時 (オンライン会議)

参加者 : 12名

第3回 日時 : 2022年3月18日(金) 14時~15時 (オンライン会議)

参加者 : 13名

<書籍編集委員会>

第2回 日時 : 2021年8月29日(日) 20時~21時20分 (オンライン会議)

参加者 : 6名

第3回 日時 : 2021年12月22日(水) 18時~19時30分 (オンライン会議)

参加者 : 6名

第4回 日時 : 2022年3月13日(日) 20時~21時15分 (オンライン会議)

参加者 : 6名

② 海外調査

新型コロナウイルスの感染拡大のため、実施せず。

(2) ジェンダー問題に関する研究への助成

① 個人研究助成

若手研究者を対象に、男女共同参画社会の形成に資する研究テーマを公募し、選考の上、助成した。

・募集期間 2021年4月15日~5月31日

・応募総数 35名

・審査委員会 2021年6月22日(火) 当研究所にて選考会議

・受託者(4名)

* 山田安珠

「地域レベルの家族政策実施をめぐる過程追跡 : 2000年代ドイツの保育施設利用状況に注目して」

* 平安名萌恵

「沖縄のシングルマザーの自立と主体性の問い直し —生活史・参与観察調査から」

*陳 環

「近代日本画塾からみる女子美術教育と女性画家の進出と絵画表現 ―東京の画塾を中心に―」

*奥山裕介

「異性愛主義の敵としての「センチメンタル」な修辞 ―近代デンマーク文学における反形象的表現をめぐる言説分析」

・助成金額 計 1,200,000 円 (各 30 万円)

② 団体研究助成

ジェンダー問題を研究している団体の研究計画を公募し、選考の上、助成した。

・募集期間 2021 年 4 月 15 日～5 月 31 日

・応募総数 6 件

・審査委員会 2021 年 6 月 22 日 (火) 当研究所にて選考会議

・受託団体 2 件

*にじいろ保育の会 (辞退)

「セクシュアル・マイノリティの子どもの困難体験に関する研究 ―セクシュアル・マイノリティ保育者のフォーカス・ディスカッション・グループを通じて―」

*「労働と再生産の再考」研究会

「社会的・空間的〈周縁〉に関するジェンダー・ポリティクスの共同研究 ―労働と再生産をめぐる表象分析とケア理論の検討を通して―」

・助成金額 計 10 万円

(3) ジェンダー問題に関するシンポジウム、フォーラム等の開催

ジェンダー問題に対する理解・意識の普及や啓発のため講演会、報告会等を開催した。

① 講演会

日本が世界 120 位から脱却するために必要な法制度、官僚機構、司法のあり方を考える講演会を開催した。

・テーマ ジェンダー平等の国際的潮流 ―世界 120 位からの脱却

・講師 林陽子さん (弁護士、元国連女性差別撤廃委員会委員長)

・日時 2021 年 11 月 28 日 (日) 13 時 30 分～15 時 50 分

・会場 国際センター別棟ホール (オンライン併用)

・参加費 無料

・参加者 75 名 (会場 33 名、オンライン 42 名)

② 個人助成受託者報告会

前年度の個人研究助成受託者が、研究成果を中間発表するための報告会を開催した。

・日時 2021 年 7 月 17 日 (土) 13 時 30 分～16 時 05 分

・会場 東海ジェンダー研究所 セミナー室 (オンライン併用)

・報告者

*田中 美彩都 さん (日本学術振興会特別研究員 PD (東京大学))

「19世紀末から20世紀初頭の朝鮮における家父長制をめぐる実態分析」

*三重野 雄太郎 さん (佛教大学社会学部公共政策学科講師)

「ドイツにおける内密出産制度」

- ・参加費 無料
- ・参加者 21名 (会場10名、オンライン11名)

③ 賛助会員のつどい(公開)

賛助会員の交流を図り、幅広い分野におけるジェンダー問題への理解を深めるため、毎年公開して行っている。

- ・テーマ 企画展「性差^{ジェンダー}の日本史」で伝えなかったこと
- ・講師 横山百合子さん (国立歴史民俗博物館名誉教授)
- ・日時 2021年10月24日(日) 13時30分～15時50分
- ・会場 都市センター特別会議室 (オンライン併用)
- ・参加費 無料
- ・参加者 67名 (会場29名、オンライン38名)

*賛助会員数 197名 (2021年度末現在)

④ 講座

スポーツを通してジェンダー問題について考えるため、講座を開催した。

- ・テーマ 東京2020大会が浮き彫りにしたジェンダー問題を考える
- ・講師 來田享子さん (中京大学スポーツ科学部教授)
- ・日時 2022年1月22日(土) 13時30分～16時30分
- ・会場 ウィンクあいち12階会議室 1204
- ・参加費 無料
- ・参加者 23名

(4) 年報及びニューズレター等の発行 (広報・出版活動)

① 年報『ジェンダー研究』第24号の発行

特集「災禍とジェンダー」依頼論文のほか、公募論文、当研究所の2020年度事業報告等を掲載した。

<公募論文>

- ・応募期間 2021年4月15日～9月30日
- ・応募総数 8件 (一般8件、研究助成受託者0件)
- ・年報審査委員会
 - 第1次選考 2021年10月13日(水) 当研究所にて選考会議
 - 第2次選考 2021年12月10日(金) 当研究所にて選考会議

<内容>

- ・発行月 2月
- ・発行部数 700部

・掲載内容

依頼論文	4件
公募論文	2件
特別寄稿（4論文）	1件
訳書紹介	1件

② ニュースレター『LIBRA』第72・73・74号の発行

ジェンダー問題に関する識者の見解、当研究所の事業などを掲載した。

- ・発行月 7月（72号）・11月（73号）・3月（74号）
- ・発行部数 各号 1,300部

(5) 他団体との連携

共催・後援事業はなし

(6) ジェンダー問題に関する資料・文献の収集と提供

ジェンダー問題に関する図書・雑誌・資料を収集した。また、図書・雑誌・資料の整理を行った。

- ・ジェンダー問題に関する図書・雑誌の購入・寄贈 図書53冊、雑誌2タイトル
- ・関係諸機関からの研究情報ニュース、研究誌（年報など） 27タイトル

(7) その他当研究所の目的を達成するために必要な事業

- ① ジェンダー問題に関する研究会・研修等に用いるセミナー室の貸出
2021年度利用登録団体8件、年間利用件数55件（2020年度50件）
- ② ジェンダー問題に関する会議等への出席
 - ・「名古屋市男女平等参画推進会議（イコールなごや）」への出席
2021年6月4日（金）、2022年1月19日（水）
 - ・公益財団法人 あいち男女共同参画財団理事会への出席
2021年6月2日（水）、2022年3月15日（火）

(8) 「名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ（GRL）」への支援

① 図書・雑誌・アーカイブの寄贈

GRLの蔵書とするため、図書・雑誌をGRLに寄贈した。

- ・図書 27冊を寄贈した。内訳は、和書27冊である。
- ・雑誌 3タイトルを寄贈した。内訳は、和雑誌3タイトルである。
- ・資料（アーカイブ） 17ファイルを寄贈した。

② 運営費等の寄附

ジェンダー問題に関する研究をすすめるため、当研究所と名古屋大学の連携事業として2017年11月に開館したGRLに対し、「図書及び運営費の寄附に関する合意書」（2017年3月3日締結）に基づき、2021年度分の運営費寄附金16,479,503円を2021年4月8日に名古屋大学へ寄附した。

③ 会議への参画（東海ジェンダー研究所と名古屋大学による会議）

GRL 運営小委員会（10 回）、図書選定委員会（5 回）に参加し、GRL の運営・事業内容等の検討を行い、年報の発行等を支援した。